

国試&マッチング
医学生のためのサポートマガジン

KOKUTAI

月刊 医師国試対策

ご健闘を
お祈りしています!!



CONTENTS

▶ 特集

知識を解くチカラに!

107回国試予想問題 50

▶ 公衆衛生ノート

書き込んで覚える公衆衛生対策④

▶ Dr.momo の画像診断
まとめの問題

▶ 日本医療の“いま”を視る
グリーンケア

4号連続
スペシャル
コラボ

◎羊土社「レジデントノート」×「KOKUTAI」
受験生から研修医へ step by step

第4回「病院内でのコミュニケーション」

編集部おすすめの初期臨床研修病院

BEST CHOICE



春休みは 長崎に 行こう!

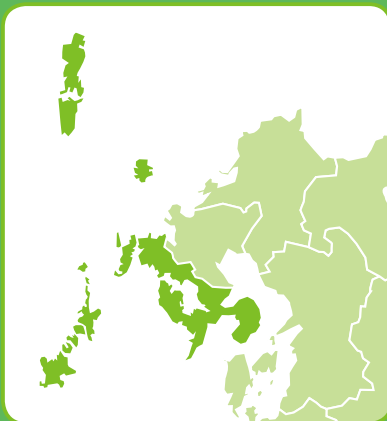
長崎県17病院
合同説明会
3月9日 土 開催

臨床研修病院を選ぶ理由。研修内容、職場の雰囲気、プライマリケアや指導医の充実……。これらを十二分にカバーする研修環境はもちろん、それだけじゃない「プラスワン」が得られる研修。

5年連続でマッチ数が増加している長崎県はそんな病院がたくさんある。なぜ選ばれているのか、新・鳴滝塾の活動、研修医の表情や声、あらゆる角度から見てみたい。長崎に行けばきっといいと思うはず。

県内17の初期臨床研修病院

- 長崎大学病院
- 長崎原爆病院
- 長崎北徳洲会病院
- 長崎県島原病院
- 佐世保中央病院
- 長崎県上五島病院
- 長崎市立市民病院
- 上戸町病院
- 市立大村市民病院
- 佐世保市立総合病院
- 佐世保共済病院
- 長崎県対馬いづはら病院
- 済生会長崎病院
- 健康保険諫早総合病院
- 長崎労災病院
- 長崎県五島中央病院



長崎大学病院 医療教育開発センター教授
新・鳴滝塾 事務局長
浜田 久之 (はまだ ひさゆぎ) 先生

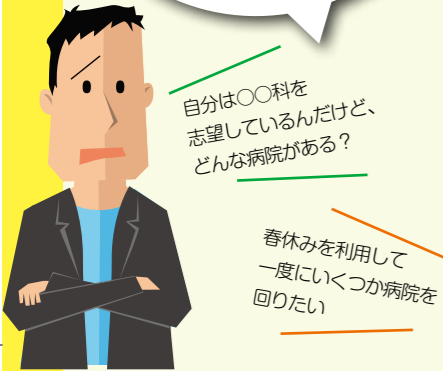


NAGASAKI 17 HOSPITAL 新・鳴滝塾

What?
新・鳴滝塾って、
何をしているの？

長崎県では、県内全ての臨床研修病院と長崎大学病院の計17病院が協力して研修医の育成に当たっています。その主幹をしているのが新・鳴滝塾。医学生の病院見学時のフォローから研修医の教育まで、一貫した医師育成の体制を敷いています。県内の研修医同士が交流できるイベントも設けられ、臨床技能をスキルアップできる環境も充実しています。

見学先病院のコーディネートをお手伝い。



そんなときは、
新・鳴滝塾に
連絡を！



今回の記事を読んで、少しでも気になったらぜひ見学へ行ってみましょう。遠方から見学に行く場合、「お金がちょっと……」という人も、新・鳴滝塾が旅費をサポートしてくれます。

■お問い合わせはこちら

長崎県医師臨床研修協議会「新・鳴滝塾」事務局
〒852-8501 長崎市坂本1丁目7-1
●TEL: 095-865-8351 ●FAX: 095-819-7882 ●E-mail: info@narutaki-jyuku.jp

新・鳴滝塾では、医学生を対象としたレジナビフェアやeレジフェアに出展しているほか、毎年「長崎県17病院合同説明会」を行っています。17病院の指導医、研修医が一堂に集まるので、研修内容はもちろん職場の雰囲気や自分のやりたいことのアドバイスなどを聞くことができます。



昨年、新・鳴滝塾が主催した長崎県17病院合同説明会のようす。九州地方の医学生だけでなく、全国から多くの医学生が参加。

長崎県17病院合同説明会は3月9日（土）開催！

場所・時間 長崎新聞文化ホール〈アストピア〉、13:00スタート

参加申し込み方法 1月中旬より新・鳴滝塾ホームページにて、事前エントリーを受け付け開始

Why?
長崎県の研修は
なぜいいの？



研修医のやる気を指導というかたちでフィードバック

佐世保中央病院 [2年目研修医・澤瀬 寛典先生]
病院全体のチームワークに助けられながら、たくさんの手技をやらせてもらっています。研修医の意見も受けとめてくれる指導医のもと、自由にできるのが楽しい。

患者さんが研修医を育ててくれる地域性

諫早総合病院 [1年目研修医・長田 和義先生]
指導医、看護師、病院スタッフの雰囲気がいい！患者さんも優しく、とても助かっています。働きやすい環境が、より自分の成長につながっていると思います。



研修医がプログラムをつくる
自由度の高い研修システム

長崎大学病院
[1年目研修医・左から島崎 綾子先生、吉村 聡志先生、佐々木 聖奈先生]
いろいろな科を回っていると興味の対象が変わったり、もっと深く勉強したい疾患が出てきたりします。融通が利くプログラムだと、その後の研修を自分のやりたいことに合わせてつくりあげていけるので、意欲的に取り組めます。



研修医と指導医の距離の近さから生まれる確かな成長

済生会長崎病院 [臨床研修教育センター長・芦澤 潔人先生]
当院は急性期病院、地域医療支援病院として広く患者さんを受け入れています。研修医は数名ということもあって、それぞれの研修医に対して手厚い教育ができます。働きやすい環境が、より自分の成長につながっていると思います。



診療科の壁を超えた充実した研修コンテンツ

長崎県島原病院
[院長・松尾 繁年先生(中)、内科診療部長・山西 幹夫先生(右)、2年目研修医・津田 健希先生(左)]
一般的には消化器内科、呼吸器内科などに分けられますが、当院はそういう垣根を取り払って「内科」として6カ月じっくり研修するのが大きな特徴です。外科の症例も豊富で手術件数も多いので、ぜひ多くの経験を積んでほしい。



良い手本をみつけて、その人から高い専門性を学べる

佐世保市立総合病院 [研修医1年目・辻 創介先生]
各科に高いレベルの専門医の先生がおり、幅広い指導体制のもと研修しています。いろいろな年代の先生に指導を受けられたり、悩みを聞いてもらえたりするのは大きなメリット。研修は100%満足。皆さんにぜひお勧めしたいです。



救急・プライマリケアの基本が学べる

長崎原爆病院
[研修医1年目・左から花牟禮 聡美先生、福嶋 絢子先生]
症例数が豊富で、面倒見のいい先生に恵まれています。また、一つ上の先輩が業務的な内容まできちんと教えてくれるので、そんな環境にとっても感謝しています。



浜田先生に聞きました。

5年連続でマッチング数が増加している長崎県。その研修内容や新しい試みとは？

◆浜田久之（はまだ ひさゆき）先生
 新・鳴滝事務局長。内科医。長崎医療センターで研修医指導に携わり、総合診療病棟を立ち上げる。
 トロント大学で医学教育を学び、長崎大学病院へ。2011年より医療教育開発センター教授。



長崎と大都市の研修の違い

都市に比べると医療資源が少ないのは事実ですけど、裏を返せば患者さんの選択肢も限られてくるので、1カ所の病院にさまざまな症例が集まってきます。病院あたりの研修医の数が都市の病院よりも少ないので、必然的に一人ひとりの研修医が経験するcommon diseaseの数が多くなります。手技であっても、例えば1年間に下部消化管内視鏡検査を200件経験した研修医がたくさんいます。もちろん手術に入るチャンスも多いです。そのため、より多くの症例に触れ、手技も数多く経験できて、臨床力が身に付くのは長崎の病院だと思います。また長崎県は県内17病院がネットワークを構築し、研修イベントなども多数開催しており、人的交流に力を入れているので、将来のポジションを見据えてキャリアを積むこともより確実だと思います。

長崎県の地域性……

鎖国時代から続く、人を受け入れて育てるという文化が培われているのが長崎県です。また、人の言うことに対して拒絶反応を示さないのが県民の気質です。そのため住環境がとても良く、研修医たちも研修に思いっきり打ち込める「住みやすさ」を感じることができていると思います。仕事とプライベートをバランスよく充実させることで、自分の成長によりつながることでしょう。さらに長崎県内の患者さんには「医者育てる」という意識があると、僕は感じています。他の地域ではあまり聞かないことですが、これまで患者さんから「研修医の先生を付けてください」という方に何人も出会いました。それは、主治医と研修医が2人で回っている時に、患者さんが研修医の一生懸命さに共感し、そのような言動につながっているのだと思います。患者さんが研修医を育てる、そんな環境も長崎県の大きな特徴です。

長崎大学病院の研修内容

自由度の高いプログラムも特徴の一つですが、夜間急患センターや院外研修なども充実しており、市中病院に劣らないプライマリ症例数があります。もちろん救急も3次まであるので、幅広く経験できる症例があります。1年次の終了時点で約8割の研修医が、必須症例レポートの7～8割を達成することができており、これを裏付ける結果となっています。

新しい初期研修プログラム

平成25年度より新・鳴滝塾と長崎県の17病院が連携し、3カ所を重点的に回るトライアングルコースが始まります（右ページ参照）。これは長崎県内の病院のいいところどりで、個人のさまざまなニーズに応えるプログラムです。従来のいわゆるたすきがけのプログラムでは、「大きい病院（大学病院）と大きい病院（市中病院）」となりますが、新しいプログラムでは、長崎大学病院を軸として、県内の17病院を自由に組み合わせることができます。例えば、よりプライマリケアの症例を幅広く経験したければ、「大きい病院（大学病院）+大きい病院+へき地の病院」でもいいですし、もちろん「大きい病院3つ」での研修も可能です。

いい研修病院とは……

皆さんにとってどこの研修病院がベストなのか、それは正直分かりません。まずは第一に本人の“やる気”が大切で、そしてそれ以上に重要なのが、その“やる気”を最大限にサポートし、未知の力を引き出してくれる研修病院を見つけることです。長崎県は17病院のネットワークを活かし、皆さんの可能性を広げる研修内容が整っています。ぜひ春休みを利用して見学に来てください。

Close up 長崎大学病院



大学病院は高度医療が中心で、プライマリ症例は少ない……。長崎大学病院に見学に行けば、そんな大学病院の研修のイメージが180°変わります。高度医療も、common diseaseもたくさん経験できます。

地域医療を学べる！ 院外での外来研修

長崎大学病院では昨年4月より、プライマリ症例をより経験できるように院外での外来研修をスタートさせました。外来研修は県内の4施設で行われ、1年間のプログラムの中で全ての施設に回れるようになっています。毎週水曜日にそれぞれの専任教官とともに研修を行います。下の写真は研修医1年目の清原龍士先生（長崎大学病院基幹型研修医）が行った上五島病院での外来研修の様子。上五島病院での外来研修を担当する長崎大学病院医療教育開発センター教官（内科医）の栢田智子先生の指導のもと、将来につながる貴重な経験をしました。

上五島病院に到着
 移動はヘリコプター or 高速フェリー。
 上五島は人口約22,000人。

外来開始
 午前9時から外来が始まる（清原先生）。
 患者さんは魚骨をつまらせた女性。

患者さんの対応を考える
 栢田先生と一緒に対応・治療方針を決める。
 この日は5人の患者さんを診察。

トライアングルコース

3病院で研修が可能な自由度の高いプログラム。

1年目		2年目		地域医療 1ヶ月
A病院	B病院	長崎大学病院		
6ヶ月	6ヶ月	11ヶ月		
1年目		2年目		地域医療 1ヶ月
長崎大学病院	B病院	A病院	長崎大学病院	
5ヶ月	6ヶ月	6ヶ月	6ヶ月	

■パターン③
 長崎大学病院8ヶ月（以上）+地域医療1ヶ月を除いた最大15ヶ月は、2つの病院を自由に組み合わせさせて研修を行う
*必ずしも希望が全て通るとは限りませんが、最大限希望が通るように各病院と調整します

1年次に30万円、
 2年次に30万円の
 学習補助金が
 新・鳴滝塾から
 支給されます！

他にも研修医の希望に沿ったいろいろな組み合わせができます。例えばこんなプログラムが考えられます。

- 1 県内の病院のいいところどりで
- 2 プライマリケアを鍛えてから専門へ
- 3 救急をいっぱい経験

もちろん外来研修、トライアングルコース以外にも大学病院ならではの層の厚い指導体制や、1次から3次まで学べる救急教育、充実した学習環境など特徴を挙げれば切りがありません。この研修内容をぜひ自分の目と体で確かめてください！